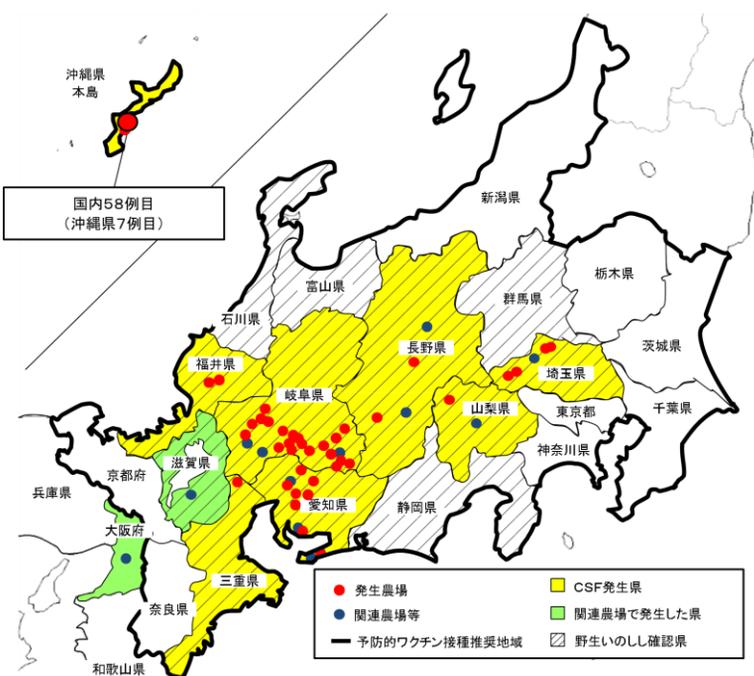


沖縄県の養豚場でCSF(豚熱)が続発！(国内58例目)

3月12日、沖縄県うるま市の養豚場においてCSF(豚熱)の疑似患畜が確認されました。当農場は、国内52～57例目の移動制限区域内にあり監視対象となっていた農場です。

飼育施設への部外者の立入制限と車両・靴等の消毒、施設周辺の消毒やネズミ駆除、野生動物の侵入防止などの衛生対策を確実に実施してください。



【58例目の概要】

- ◆発生農場
沖縄県うるま市 440頭飼養
- ◆経過
 - ・3月10日、県が国内52～57例目の移動制限区域内にある農場に、CSFの定期検査のため立入検査を実施。
 - ・同日、沖縄県による検査で本病の疑似患畜と判明。
- ◆沖縄県7例目

CSF発生県: 埼玉、山梨、長野、岐阜、愛知、福井、三重、沖縄
 関連農場発生県: 大阪、滋賀

- ▶ 毎日の健康観察と異常家畜(耳・下腹部・四肢の紫斑、結膜炎、複数頭の40℃以上の発熱、便秘又は下痢、食欲不振など)の早期発見・早期通報をお願いします。
- ▶ 豚熱の発生を防止するためには、人や物を始め野生動物などによって飼育環境にウイルスが持ち込まれないことが重要です。
 - ☑ 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒の徹底
 - ☑ 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴の着用
 - ☑ いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止
 - ☑ 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料の加熱給与(70℃以上30分以上または80℃以上3分以上)